

登録コード	J6410300	開講年度	2026			
授業科目	環境社会学概論				担当教員	金澤 謙太郎
英文授業名	Environmental Sociology				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学年
講義室	経法第3講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目	(23カリ対象科目)法：3年
信大コンピテンシー該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	経法23加(2026改)・総合法律, 経法23加・総合法律					
	法学の専門領域の基礎能力として、リーガルマインドを備え、現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。				環境問題をめぐる多様な考え方や社会構造を理解した上で、環境問題に対する自分なりの考察や批判ができ、それを周りの人に説明することができる。	
	環境問題や、企業や行政の組織内において、日々生起する諸問題について、理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち、総合的に解決していくことのできる能力を身につける。				環境と共存する人びとの生活様式や生業について一定の理解を持ち、他人や地球をできるだけ傷つけない試みや実践について具体的に述べることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース					
(4)授業の概要	環境社会学は、人間社会が自然的環境に与える諸作用と、その結果としてそれらの環境が人間社会に対して放つ反作用が人間社会に与える諸影響の相互関係を、その社会的側面に注目して、実証的にかつ理論的に研究する社会学の分野です。同時に、環境社会学は、人間が作り出した環境問題の解決を志向する「行動する社会学」でもあります。本講では、環境問題、環境運動、環境共存の3つの領域における問題群から、具体的事例に基づいて考えていきます。					
(5)授業計画	第1回 イントロダクション：環境社会科学とは 第2回 環境問題の社会学的研究：被害構造論 第3回 環境問題の社会学的研究：環境というプラットフォーム 第4回 環境問題の社会学的研究：社会的ジレンマ論 第5回 環境問題の社会学的研究：現代環境問題論 第6回 グループディスカッション：第2～5回のテーマについて 第7回 環境運動の社会学的研究：環境社会運動論 第8回 環境運動の社会学的研究：環境リスク社会論 第9回 環境運動の社会学的研究：環境正義論 第10回 グループディスカッション：第7～9回のテーマについて 第11回 環境共存の社会学的研究：環境生活論 第12回 環境共存の社会学的研究：半栽培論 第13回 環境共存の社会学的研究：社会的リンク論 第14回 環境共存の社会学的研究：風土産業論 第15回 グループディスカッション：第11～14回のテーマについて、授業アンケート					
(6)成績評価の方法	平常点評価：50%（原則毎回のリアクションペーパーやグループディスカッション）、期末レポート：50%（第13回目に課題発表）					
(7)成績評価の基準	レポートは小論文形式とします。（ ）授業の内容を正確に理解し、（ ）論理的に文章が構成され、（ ）オリジナルの見解を含み、（ ）自分のことばで適切に表現でき、（ ）教員を感心させるレベルにあるかという観点から評価します。（ ）から（ ）の5項目を満たせば「卓越している」、4項目を満たせば「かなり上にある」、3項目であれば「やや上にある」、2項目であれば「水準にある」とします。					
(8)事前事後学習の内容	環境問題に関する報道や記事には注意を払い、自分なりの問題意識をレポートに反映させてください。また、授業で紹介する文献等を事前事後学習に活用してください。					
(9)履修上の注意	グループディスカッションでは積極的に参加、発言してください。					
(10)質問,相談への対応	授業時間後に質問や相談に応じます。また、研究室を直接訪ねてもらって構いません。研究室は全学教育機構第一講義棟の北校舎4階です。メールで日時を相談してください。アドレスは、kanazawa@（ ）@以下は大学で付与されているものと同じ）です。					
【教科書】	指定しない					
【参考書】	・飯島伸子『環境問題の社会史』有斐閣アルマ ・ハムフェリー・バトル（満田久義他訳）『環境・エネルギー・社会』, ミネルヴァ書房 ・船橋晴俊『環境社会学』弘文堂 ・井上孝夫『現代環境問題論』東信堂 ・長谷川公一『脱原子力社会の選択 増補版』新曜社 ・寺田良一『環境リスク社会の到来と環境運動』晃洋書房 ・バンダナ・シバ（松本文二訳）『バイオバイラシー』緑風出版 ・金沢謙太郎『熱帯雨林のポリティカル・エコロジー』昭和堂 ・嘉田由紀子『水辺ぐらしの環境学』昭和堂 ・宮内泰介編『半栽培の環境社会学』昭和堂 ・小川幸司編『岩波講座 世界歴史1：世界史とは何か』岩波書店 ・鬼頭秀一『自然保護を問いなおす』ちくま新書					

【参考書】	・三澤勝衛『三澤勝衛著作集 風土の発見と創造3 風土産業』農山漁村文化協会 ・環境社会学会編『環境社会学事典』丸善出版 ・藤川賢・友澤悠季編『講座シリーズ環境社会学第1巻』新泉社
-------	---